

## 講座名：日本宗教・思想史研究

### 注 意 事 項

1. この回答は、口述試験時に参考とする重要な資料です。回答の内容は入学試験の合否判定には直接影響しませんが、回答を提出しない場合は、口述試験を受験する意思がないとみなします。
2. 手書き又はパソコンで作成してください。
3. 回答の1枚目冒頭に、受験番号・氏名・志望講座名を明記してください。
4. 作成した回答はPDFファイル形式で提出してください。
5. 回答作成の際に適宜資料を閲覧しても構いませんが、引用もしくは参照する際には必ず出典を明記してください（Chat GPTなど生成AIの回答を含む）。
6. 回答は、他者と相談・協力等を行わずに、受験者本人が一人で作成してください。
7. 回答は口述・面接試験まで保管してください。課題及び課題の回答を見ながら口述・面接試験を行う場合がありますので、試験当日は、課題及び課題の回答をプリントアウトして、手元に準備してください。
8. 課題内容を他所に掲載・転載すること、および他者への配付を禁じます。
9. 下記の方法で提出してください（電子メールでの提出は認めません。）。

提出期限：1月13日（火）17：00（日本時間）【必着】

提出方法：TAOのメッセージ機能にアップロードすること

提出先：東北大学大学院国際文化研究科教務係

特定の分野を超えて、日本の歴史叙述においては、「戦前」と「戦後」という区分がしばしば自明のものとして用いられ、今日の歴史叙述の重要な基礎をなしている。しかし、一見すると客観的で中立的に見えるこの区分は、実際にはさまざまな問題を孕んでいる。日本の歴史叙述における「戦前」と「戦後」という枠組みがもつ問題性について、日本語で論じなさい。なお、字数は2000字程度以上とし、脚注や出典は字数に含めないものとする。